

②⑤【社会福祉法人 恩賜財団 済生会新潟県中央幹病院】

住 所	〒955-0091 新潟県三条市上須頃5001番 1		病床数：400床
診療科目	内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、外傷再建外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、腎臓内科、総合診療科、代謝・内分泌内科、歯科口腔外科		
研修責任者名	小泉 健	連絡先：rinken@saiseikai-ngt.or.jp 0256-47-4700（代表）	連絡先担当者名：上結 可南子
新臨床研修医指導実績	・新潟大学医学総合臨床研修病院群研修プログラム採用 令和6年3月1日開院		
研修受け入れ可能診療科		学会認定専門医数	学会認定指導医数
必修：内科（総合診療科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、脳神経内科）、外科、救急科 選択研修：整形外科、外傷再建外科、放射線科、麻酔科 令和5年11月現在		内科（内科）1人、内科（総合内科）7人、内科（呼吸器）1人、内科（感染症）1人、内科（気管支鏡）1人、内科（循環器）2人、内科（神経）3人、内科（消化器）3人、内科（消化器内視鏡）3人、内科（肝臓）1人、外科（外科）6人、外科（消化器）5人、整形外科4人、脳神経外科1人、リハビリテーション科1人、放射線科1人、麻酔科1人、救急科2人 令和5年10月現在	内科（内科）4人、内科（感染症）1人、内科（神経内科）3人、外科（外科）2人、外科（消化器）3人、放射線科1人、麻酔科1人、救急科1人 令和5年10月現在
施設の概説・特徴			
県中央幹病院は、県中央医療圏の公立・公営5病院を再編統合し、地域の柱となる病院として、燕三条駅前にて2024年3月1日新規開院します。 研修医の先生方が研修を開始する2024年4月1日からは、ER救急体制を構築し、地域のCommon Diseaseや多病・多様・非定型な徴候を有する高齢患者症例まで、救急医療から各科専門治療を提供します。 「県中央地域の患者を県中央で診る」をミッションに掲げる病院で、豊富な症例のもと、一般的な疾患・基本的な診療を各診療科において多く経験することができ、新病院立ち上げに取り組んできた熱意ある指導医の元、医療人としての基礎となる部分をしっかりと学ぶことができます。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
内科：総合診療科は病棟管理だけでなく、一般外来で多くの症例・一般的な疾患の診断・検査・治療管理を経験してもらいます。循環器は県中央地区で唯一、心臓カテーテル検査、治療を行っています。消化器は消化器内視鏡治療や肝・胆道系のIVRを積極的にを行い、ウイルス肝炎では先端の診療を行っています。呼吸器は肺癌や感染症の症例が豊富です。腎・透析部門は症例増加にとまないベッド数を増床。神経内科は脳血管障害とともに、脱髄疾患・変性疾患など貴重な症例が多くあります。 外科：県中央唯一で消化器外科全般および乳腺外科にわたり多数の手術実績をあげていて、難易度の高い手術も手がけています。内視鏡手術や癌の化学療法も積極的に行っています。 救急科：指導医・専門医・専攻医が揃う環境下で、救急科専門医・集中治療専門医がメンターとなり救急患者（Walk inから救急搬送重症例まで）の初療から入院後の重症患者治療まで研修できます。 整形外科：一般外傷患者の受け入れおよび手術に力を入れていて、初期研修医には「当直で困らない整形外科初期診療」を身につけてもらうことが可能です。 外傷再建外科：日本国内でもこの科はごくわずかしかありません。急性期の外傷に対する機能再建の考え方と実践を、慢性期の機能障害に対する再建術の治療方針と手術を学びます。また、退院後の生活、社会復帰を考慮した治療計画を検討します。外傷診断と治療は他科・他職との連携が必須でありチーム医療を経験できます。 放射線科：日々の依頼されたCT、MRIの読影に加え、救急疾患を中心としたteaching fileを用いて、当直に対応できる読影能力を身につけることを目標に指導します。また、件数は少ないですが腫瘍や出血、腹部分枝動脈瘤のIVRも行っていますので希望があれば指導します。 麻酔科：一般的な麻酔の導入から維持、覚醒までを実際に経験してもらいます。また、手術室看護師・手術執刀医・MEなどとのコミュニケーションを存分に経験したり、緩和ケアチームのミーティングに参加し、多職種とのチーム医療を経験することができます。			
研修の概説と特徴			
県中央幹病院の統合病院である燕労災病院では、2022年度・2023年度で市中病院等から25名以上の研修医を受け入れており、2024年2月に基幹型臨床研修病院の指定を受ける予定です（県中央幹病院として2025年度入職研修医マッチングに参加）。 基幹型病院としての研修医がいない環境下で、各専門科研修を充実した指導体制のもとで研修できる環境が整っています。さらに「総合的に患者を診て全人的医療を実践する」という医療の基本をしっかりと研修できます。Common Diseaseや多病・多様・非定型な徴候を有する高齢患者症例が豊富に集まる地域環境下で、指導医からの多くのフィードバックを受けることで経験を実力として身につけてもらいます。専門も総合・一般的な診療も、各メディカルスタッフからの指導も含め、研修医の皆さんの希望するプログラムを流動的に組み合わせることで、皆さんのニーズに合わせた研修が可能です。			
研修医の当直			
指導医の指導の下、救急外来等を担当していただきます。研修医の希望を考慮して、回数や日程を決定します。※時間帯は研修診療科や輪番日等により変わります。			
処 遇			
●給与：1年次 月額基本給360,000円（調整手当含） 2年次 月額基本給445,000円（調整手当含） （諸手当）通勤手当：上限44,100円（距離に応じた区分より支給） 時間外手当：時間外勤務時間に応じ支給 当直手当：21,000円/回 学会参加費、旅費等に使用できる研修費を支給。 ●食事：昼食はお弁当を準備いたします。 ●宿舎：借上げ宿舎あり。個人準備の場合は住居手当あり（上限27,000円）。 ●居室：研修医用の居室あり（実習生と同居）。 ●図書・文献：各種資料検索のため、各領域の主要学会誌もオンライン版にて準備する予定です。（医中誌、メディカルオンライン、UpToDate等） ●インターネット環境：Wi-Fi環境が整っており、院内でのインターネット利用が可能です。			